

第二種奨学金（海外）【大学院】の概要

海外の大学院へ進学し、奨学金の貸与を希望する方へ

独立行政法人日本学生支援機構

学位取得を目的として海外の大学院に進学予定の人、及び現在海外の大学院に在学している人を対象とする奨学金制度です。予約採用（進学前に募集する採用方式）と在学採用（進学後に募集する採用方式）の2つの申込方法があります。

第二種奨学金（海外）は貸与奨学金（借りるもの）です。奨学金を申込み、貸与を受けるあなた本人に返還義務があります。

●奨学金の種類

第二種奨学金（利子付き。在学中は無利子）

★利率の算定方法は「利率固定方式」又は「利率見直し方式」のいずれかを選択します。

●貸与月額

5万円・8万円・10万円・13万円・15万円の中から貸与月額を選択します。

●入学時特別増額貸与奨学金

入学時に必要な資金として、月額とは別に増額貸与を申し込むことが可能です。

★選択した貸与月額の初回振込時に併せて振り込まれます（入学前には振り込まれません）。

★10万円・20万円・30万円・40万円・50万円の中から希望の額を選択します。

●保証制度

次の①、②の両方の保証制度への加入が必須です。

①機関保証制度・・保証機関の連帯保証を受ける制度です。

★本機構が毎月の奨学金から保証料を差し引き、保証機関に支払います。

②人的保証制度・・連帯保証人及び保証人を選任する制度です。

●奨学金の返還

奨学金の貸与終了の翌月から数えて7か月目に返還が始まります。

予約採用について

1. 申込資格

海外の大学院へ進学（入学又は編入学）を希望している人で、下表のいずれかに該当し、在学学校又は卒業校の長から推薦を受け、経済的理由により修学に困難があると認められる人。

申込資格（いずれかに該当する必要あり）	進学時期・進学先	申込先
（1）国内の学校（※1）を卒業（修了）予定 又は卒業（修了）後3年以内の人	申込みの翌年度に、海外の大学院の正規課程 に入学（編入学）が見込まれる人	在学学校 又は卒業校
（2）海外の大学を卒業予定 又は卒業後3年以内の人		本機構

（※1）国内の学校とは、大学、大学院、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）をいいます。

（※2）国内の学校を退学予定で海外の大学院に入学（編入学）を希望している場合は、申込資格について在学学校に確認してください。

2. 申込方法

前記の「1. 申込資格」(1)に該当する人は、国内の学校を通じて申込みを行います。学校の奨学金窓口にお問い合わせください。

申込資格(2)に該当する人は、直接本機構へ申し込みます。

申込資格(1)、(2)のいずれにも該当しない人は、予約採用の申込みはできませんが、在学採用で申し込める場合があります。

3. 採用候補者の決定から採用まで

(1) 国内の学校からの推薦を受けて、本機構で選考を行います。

採用候補者に決定した人には、国内の学校を通じて「採用候補者決定通知」や、進学後の手続きに必要な書類を送付します。

(2) 海外の大学院の正規課程進学後、「進学届」、「在籍証明書」、「履修証明書」、「入学許可書」等の必要書類を機構に提出します。機構は提出書類を審査の上、採用の可否を決定します。

※採用決定後に奨学金の振込みが開始されます。進学前に奨学金が振り込まれることはありません。

(3) 採用後、期限までに「返還誓約書」及び「保証依頼書」を機構の指定する提出先に提出します。

在学採用について

1. 申込資格

海外の大学院の正規課程に在学している人で、在学校の指導教員等から推薦を受け、経済的理由により修学に困難があると認められる人。

2. 募集時期・申込方法

(1) 毎年5月～12月まで毎月申込み受付(毎月10日締切)

(2) 機構ホームページから申込書類の請求を行い、必要書類(在籍証明書、成績証明書、推薦書等)を調べて、機構に送付(郵送)します。

※申込書類の請求は入学前に行うことも可能ですが、奨学金の申込みを行うことができるのは、進学後(正規課程の授業開始後)のみです。

3. 採用

(1) 機構は提出書類を審査の上、採用の可否を決定します。

※採用決定後(申込月の2か月後)に奨学金の振込みが開始されます。

ただし、提出書類に不備等があった場合は、採用月(奨学金の振込開始月)が遅れる場合があります。

(2) 採用後、期限までに「返還誓約書」及び「保証依頼書」を機構の指定する提出先に提出します。

本奨学金制度の概要については、日本学生支援機構のホームページをご覧ください。

予約採用について

ホーム>奨学金>申込方法>海外留学の奨学金>第二種奨学金(海外)>第二種奨学金(海外) 予約採用
https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/kaigai/2shu_kaigai/gaiyou.html

在学採用について

ホーム>奨学金>申込方法>海外留学の奨学金>第二種奨学金(海外)>第二種奨学金(海外) 在学採用
https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/kaigai/2shu_kaigai/zaigaku.html

申込書(紙)による申込み・推薦

2022年度海外大学院進学予定者対象 第二種奨学金（海外）申込みに係る提出書類一覧

以下の書類を 学校が指定する期限までに 提出してください。

	書 類	提出が 必要な人	「貸与奨学金案内」 の説明ページ
1	「申込みに係る重要事項確認」	申込者全員	スカラネット入力に代えて、記入します。
2	「申込書」〔海外大学院用〕		
3	「奨学金振込口座届」		
4	「確認書」		25～26 ページ
5	「留学計画書」		27 ページ
6	学校資料（申込者作成の日本語訳添付）		28 ページ
7	「収入計算書」		29～34 ページ
8	収入に関する証明書類		29～34 ページ
9	「在留資格」「在留期限」に関する証明書類	外国籍の人	5 ページ

※ スカラネット（インターネット）入力による申込手続きは必要ありません。

「貸与奨学金案内」はインターネットを通じて申込手続きを行う人を想定して作成しています。そのため「貸与奨学金案内」の中にある「スカラネット」の記述については、「申込書」に適宜読み替えてください。

また、「収入計算書」の間に挟み込まれている「スカラネット入力下書き用紙」は使用しません。

第二種奨学金(海外)申込みに係る重要事項確認

奨学金の申込みにあたって、以下の事項を全て確認し、理解している場合は「はい」に ☒ を記入してください。

全ての項目にチェックが入っていない場合、奨学金の申請を受け付けることができません。

記入日 (西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日

在籍(出身)学校名 _____ 申込者氏名 _____

貸与奨学金における確認事項	はい (理解している)
① 在学中の学業成績や家計状況が基準を満たさない場合、奨学金が受けられなくなることがあります。	☐
② 奨学金貸与中に様々な届出や報告などを求めることがあります。必要な手続きを行わない場合、奨学金の振込が遅れたり、止まったりする可能性があります。	☐
③ 貸与奨学金はあなた本人に返還の義務があり、締め切り日までに返還誓約書を提出しなければなりません。提出しない場合、採用が取り消されます。 また、借りる金額が大きいと返す時の負担も大きくなります。貸与金額は、月々必要となる金額をよく考えて選ぶ必要があります。	☐
奨学金の返還を延滞すると、延滞金が課されます。延滞が長くなると法的措置等が行われることがあります。 ④ また、奨学金の返還が困難になった場合は、願い出により、毎月の返還額を1／2もしくは1／3に減額し返還期間を延長する「減額返還制度」や、一定期間返還期限を先延ばしする「返還期限猶予制度」を利用できる場合があります。	☐

第二種奨学金（海外）奨学金振込口座届

氏 名 (漢字)	
-------------	--

いずれか片方を選んでご記入ください

ゆうちょ銀行以外の金融機関（普通預金口座に限る）							
金融機関名（カタカナ）			該当の金融機関に○		店名（カタカナ）		該当の数字に○
			銀 行 労働金庫 信用金庫 信用組合				1 支 店 2 出 張 所
金融機関番号		店 番 号	預金種目	口座番号(右づめで記入してください)		口座名義人（奨学生本人名義に限る）	
			1普通 (総合)			フリガナ	氏 名
						氏名	

ゆうちょ銀行（通常貯金口座に限る）							
記号		番号（右づめで記入してください）			口座名義人（奨学生本人名義に限る）		
					フリガナ	氏 名	名
1 0		1			氏名		

※ ゆうちょ銀行の「記号」「番号」は、通帳の見開きの最初のページ（表紙裏面）に記載されています。
※ ゆうちょ銀行の「番号」は右詰めで記入し、8桁に満たない場合は、頭に「0」をつけてください。

注意

- ◎ 取扱いが可能な金融機関は、日本国内の銀行（ゆうちょ銀行を含む、信用金庫、労働金庫、信用組合（一部を除く））に限られています。
外国銀行、インターネット専業銀行（楽天銀行、住信SBIネット銀行、ソニー銀行、ジャパンネット銀行、じぶん銀行等）、農協、信託銀行、その他一部の銀行（新生銀行、あおぞら銀行、セブン銀行、イオン銀行等）は利用できませんのでご注意ください。また、普通預金口座または通常貯金口座のみ使用可能で、貯蓄預金口座は使用できません。
- ◎ 「三菱UFJ銀行」以外の英字名称の金融機関は英字部分をカタカナで記入してください。
- ◎ 濁点、半濁点は1字とします。
- ◎ 本店に口座を設けた場合は「ホンテン」と記入してください。

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金支給業務、奨学金貸与業務(返還業務を含む)及び在籍する学校での授業料等減免業務のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

2022 年度 第二種奨学金（海外）申込書〔海外大学院進学予定者用〕記入要領

表面

「海外入学予定学校」欄

「留学計画書」（「貸与奨学金案内」41 ページ）の「1. 入学予定学校」に記入した内容に合わせ、奨学金の貸与を開始する学校を記入してください。

「研究科・学科」欄は、中国・韓国・台湾等の学校で英語名がない場合は、日本語名を記入してください。

「連帯保証人」、「保証人」欄

連帯保証人及び保証人は、「貸与奨学金案内」（8～9 ページ）の選任条件をよく読み、条件に合致する人を選任してください。依頼する人によく説明して承諾を得たうえで、申込者本人が全ての項目にもれなく記入してください（連帯保証人、保証人自身が記入する必要はありません）。

裏面

「収入状況（本人・配偶者）」欄

- ・「収入計算書」に記入した内容を転記してください（「貸与奨学金案内」29～34 ページ参照）。
- ・本年（見込）のアルバイト収入金額を記入した場合は、「本年の週当たり就労時間」欄も記入してください。宿日直・ビルの管理人等の場合、「週当たり就労時間」は拘束時間ではなく実働時間を記入してください。

収入計算書〔前年（1月～12月）用〕

前年（1月～12月）の収入額		
	収入項目	収入額（A）
定職 （※1）	定職1（本人）	（年額） 万円
	定職2（配偶者） 〔該当者のみ〕	（年額） 万円
アルバイト （※1）	アルバイト1	（年額） 115 万円
	アルバイト2	（年額） 38 万円
	アルバイト3	（年額） 万円
	父母等からの給付額（※2）	（年額） 90 万円
	奨学金	（年額） 60 万円
	その他の収入 （利子・配当・不動産・年金等の 公的手当・預貯金の取崩等）	（年額） 万円
	収入額合計（※4）	（年額） 303 万円

〔本年見込（1月～12月）用〕

本年（1月～12月）の収入見込額		
	収入項目	収入額（B）
定職 （※1）	定職1（本人）	（年額） 万円
	定職2（配偶者） 〔該当者のみ〕	（年額） 万円
アルバイト （※1）	アルバイト1	（年額） 76 万円
	アルバイト2	（年額） 0 万円
	アルバイト3	（年額） 万円
	父母等からの給付額（※2）	（年額） 280 万円
	奨学金 （申込中のものは除く）	（年額） 0 万円
	その他の収入 （利子・配当・不動産・年金等の 公的手当・預貯金の取崩等）	（年額） 万円
	収入見込額合計（※4）	（年額） 356 万円

※「収入計算書」の記入例は、「貸与奨学金案内」34 ページを参照

転記

収入状況（本人）	勤務先名	職業	収入金額（年額・税込）		本年の週当たり就労時間		
			前年	本年（見込）			
			万円	万円	万円	時間	時間
定職							
アルバイト	（株）日本学生支援商事		115 万円	76 万円	週	20	時間
	（有）JASSOフーズ		38 万円	0 万円	週		時間
			万円	万円	週		時間
	父母からの給付額		90 万円	280 万円	万円		
	奨学金による収入（現在申込中のものは除く）		60 万円	0 万円	万円		
	その他の収入（預貯金の取り崩し等）〔内容：〕	1	万円	万円	万円		
★配偶者の収入状況（定職収入のみ）			★配偶者が給与所得の場合は「源泉徴収票」等の「支払金額」を記入。給与以外の場合は「確定申告書」の所得金額を記入。 ★配偶者が給与所得の場合は、控除前の金額を記入（皇居額は機構で算出します）。				
	配偶者氏名		★	万円	★	万円	
	勤務先名						
	職業						
本人および配偶者の収入金額合計（配偶者給与所得は控除前の金額で計算）			303 万円	356 万円	万円		

授業料・通学費等を父母が支払っている場合は、父母等からの給付額として計上

これから申し込む第二種奨学金（海外）は含めない（受給した実績があるもののみ計上）

訂正方法

記入を間違えた場合は、訂正箇所にも二重線を引き、余白に記入し直してください。

2022年度 第二種奨学金(海外) 申込書〔海外大学院進学予定者用〕

「記入例」及び「記入要領」等を参照し、申込者本人が必要事項を正しく記入してください。

「※」の箇所は、該当するものを○で囲んでください。

独立行政法人 日本学生支援機構理事長 殿										(西暦) 年 月 日										
私は、学位の取得を目的として留学するにあたり、貴機構の奨学金を申し込みます。本奨学金の貸与が認められた場合は、日本学生支援機構が定める諸規程等を遵守し、返還することを確約します。なお、下記の記載事項に相違ありません。																				
本人	氏名	フリガナ								性別 ※	男 ・ 女									
		(申込者本人自署)								生年月日	(西暦) 年 月 日									
	住所	〒								TEL	- -									
(国内住民票(除票)住所)								外国籍の方は在留資格												
現在学校又は卒業校																				
国・地域名※		1. 日本国内 2. 海外() ※「2. 海外」を選択した場合は、()内に国・地域名を記入								学校名 (日本語又は英語)										
学部・学科・研究科名 (日本語又は英語)										卒業(修了)年月※		(西暦) 年 月		1. 卒業(修了) 2. 卒業(修了)見込 3. 退学見込						
学種※		1. 大学(学部) 2. 大学院修士課程 3. 大学院博士課程 4. 短期大学(国内) 5. 高等専門学校(国内) 6. 専修学校専門課程(国内)																		
海外入学(編入)予定学校																				
学校名 (英語)										学校名 (日本語)										
研究科・学科 (英語)						国・地域名				課程※		修士課程 ・ 博士課程								
										入学形態※		入学 ・ 編入 (年次)								
奨 学 金 申 込 情 報 ※																				
希望貸与月額は 1. 5万円 2. 8万円 3. 10万円 4. 13万円 5. 15万円																				
※希望する場合はどれか1つの金額に○をつけてください。 入学時特別増額貸与奨学金を 1. 希望する (10万円 ・ 20万円 ・ 30万円 ・ 40万円 ・ 50万円) 2. 希望しない																				
利率の算定方法は 1. 利率固定方式 2. 利率見直し方式																				
履歴情報(これまでに日本学生支援機構の奨学金の貸与・給付を受けたことがある人は、すべての奨学生番号を記入してください)																				
奨学生番号		①								②								③		
連 帯 保 証 人	氏名	フリガナ								続柄		生年月日								
												(西暦) 年 月 日								
	住所	〒										電話番号(自宅) () □なし 携帯電話番号 () □なし								
勤務先								□ 無職		勤務先電話番号 ()										
保 証 人	氏名	フリガナ								続柄		生年月日								
												(西暦) 年 月 日								
	住所	〒										電話番号(自宅) () □なし 携帯電話番号 () □なし								
勤務先								□ 無職		勤務先電話番号 ()										
家 庭 事 情	奨学金の貸与を希望するに至った家庭事情や、その他特に説明を要することを記入してください。																			

(注)必ず裏面も記入してください。

「収入状況」欄を記入する前に、「収入計算書」を作成してください。

「記入例」及び「記入要領」等を参照し、申込者本人が必要事項を正しく記入してください。

収入状況（本人）		勤務先名	職 業	収入金額（年額・税込）		本年の週当たり 就労時間
				前年	本年（見込）	
	定職			万円	万円	
				万円	万円	
	アルバイト			万円	万円	週 時間
				万円	万円	週 時間
				万円	万円	週 時間
	父母からの給付額			万円	万円	
	奨学金による収入（現在申込中のものは除く）			万円	万円	
	その他の収入（預貯金の取り崩し等）【内容：			万円	万円	
★配偶者の収入状況（定職収入のみ）				★配偶者が給与所得の場合は「源泉徴収票」等の「支払金額」を記入。給与所得以外の場合は「確定申告書」の所得金額を記入。 ★配偶者が給与所得の場合は、控除前の金額を記入（額は機構で算出します）。		
配偶者氏名			★	万円	★	万円
勤務先名						
職業						
本人および配偶者の収入金額合計（配偶者給与所得は控除前の金額で計算）				万円	万円	

あなたの研究情報	あなたの研究題目(研究分野)を記入してください。
	あなたの海外留学の目的と研究計画を記入してください。
	＜海外大学院博士課程進学予定者のみ記入＞ あなたのこれまでの研究内容(提出論文・紀要・学術雑誌等の発表論文)について 記入してください。

学校記入欄

*海外大学、海外大学院卒業・修了(見込)者の場合、本欄の記入は不要です。

※の箇所は、該当するものを○で囲んでください。

成績 ※	第二種奨学金の学力基準に 該当する ・ 該当しない
推薦所見	(特記すべきことがあれば記入してください)
この学生は、貴機構の奨学生として人物、学力が推薦基準に合致していることを認め、推薦します。 (西暦) 年 月 日 独立行政法人 日本学生支援機構理事長 殿 学 校 名 _____ 学校長名 _____ (※押印不要)	

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金支給業務、奨学金貸与業務（返還業務を含む）及び在籍する学校での授業料等減免業務のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報（奨学金の返還状況に関する情報を含む）が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

記入例

学校記入欄(裏面)以外は、すべて申込者本人が記入してください。

2022年度 第二種奨学金(海外)申込書〔海外大学院進学予定者用〕

同一の住民票(除票)と住所を記入。

記入日を記入。

日本国籍の場合は未記入で可。

連帯保証人は、原則として「様式B」の「確認書」に記入した「国内連絡者(父又は母)」と同一人。

「印鑑登録証明書」で登録している住所を記入。

独立行政法人 日本学生支援機構理事長 殿 (西暦) 2021 年 8 月 1 日

私は、学位の取得を目的として留学するにあたり、貴機構の奨学金を申し込みます。本奨学金の貸与が認められた場合は、日本学生支援機構が定める諸規程等を遵守し、返還することを確約します。なお、下記の記載事項に相違ありません。

本人	氏名	フリガナ ショウガク マナブ 奨学 まなぶ (申込者本人自署)	性別 ※ (男) (女)	生年月日 (西暦) 1998 年 4 月 25 日	TEL 03 - 0000 - 0000
	住所	〒 162 - 0845 東京都新宿区市谷本村町10-7 (国内住民票(除票)住所)	外国籍の方は在留資格		
	現在学校又は卒業校				
国・地域名 ※ ① 日本国内 ② 海外 () *「2. 海外」を選択した場合は、()内に国・地域名を記入		学校名 (日本語又は英語) 日本学生支援大学			
学部・学科・研究科名 (日本語又は英語) 心理学部		卒業(修了)年月 ※ (西暦) 2022 年 3 月	① 卒業(修了) ② 卒業(修了)見込 ③ 退学見込		
学種 ※ ① 大学(学部) ② 大学院修士課程 ③ 大学院博士課程 ④ 短期大学(国内) ⑤ 高等専門学校(国内) ⑥ 専修学校専門課程(国内)					
海外入学(編入)予定学校					
学校名 (英語) ABC University		学校名 (日本語) ABC 大学			
研究科・学科 (英語) Phychology		国・地域名 アメリカ	課程 ※ 修士課程 博士課程	入学形態 ※ 入学 編入 (年次)	
奨学金申込情報 ※					
希望貸与月額 ① 5万円 ② 8万円 ③ 10万円 ④ 13万円 ⑤ 15万円					
入学時特別増額貸与奨学金を ※希望する場合はどれか1つの金額に○をつけてください。 ① 希望する (10万円・20万円・30万円・40万円・50万円) ② 希望しない					
利率の算定方法は ① 利率固定方式 ② 利率見直し方式					
履歴情報(これまでに日本学生支援機構の奨学金の貸与・給付を受けたことがある人は、すべての奨学生番号を記入してください)					
奨学生番号 ① 818-06-000000 ② ③					
連帯保証人	氏名	フリガナ ショウガク マサル 奨学 優	続柄 父	生年月日 (西暦) 1971 年 2 月 5 日	
	住所	〒 162 - 0845 東京都新宿区市谷本村町10-7	電話番号(自宅) 03 (0000) 0000 □なし 携帯電話番号 080 (0000) 0000 □なし		
保証人	勤務先	(株)奨学企画 □ 無職	勤務先電話番号 03-1111-0000		
	氏名	フリガナ キコウ アキコ 機構 明子	続柄 おば	生年月日 (西暦) 1973 年 4 月 6 日	
保証人	住所	〒 135 - 8630 東京都江東区青海 2-2-1	電話番号(自宅) 03 (1111) 0000 □なし 携帯電話番号 090 (0000) 1111 □なし		
	勤務先	□ 無職	()		

連帯保証人及び保証人は、「貸与奨学金案内」(8~9ページ)の選任条件をよく読み、条件に合致する人を選任してください。依頼する人によく説明して承諾を得たうえで、申込者本人が全ての項目にもれなく記入してください(連帯保証人、保証人自身が記入する必要はありません)。

令和2年 給与所得の源泉徴収票

給与・賞与	1,158,730
-------	-----------

事業所（勤務先、アルバイト先）ごとに「源泉徴収票」の「支払金額（税の控除前の金額）」を記入

2021年 6月分給与明細書
株式会社 日本学生支援商事

支払総額	95,500
------	--------

- 給与明細は、原則として、直近3か月以上分を提出。
- 給与明細の「総支給額（控除前の金額）」で計算（差引支給額は使用しない）。
- 年額推算の計算式を「収入計算書」裏面に記入。

「収入計算書（本年見込）」裏面 計算式

アルバイト1

- 2021年1～6月分実績（給与明細あり）
 $95,000 + 96,000 + 95,500 + 94,000 + 94,000 + 95,500 = 570,000$ 円…①
- 2021年7～8月分見込（8月で退職予定）
 $570,000 \div 6 = 95,000$ 円/月平均 $95,000 \times 2 = 190,000$ 円…②
- 年額（見込） ①570,000+②190,000=760,000円

収入計算書 [前年 (1月～12月) 用]

前年 (1月～12月) の収入額		
	収入項目	収入額 (A)
定職 (※1)	定職1 (本人)	万円
	定職2 (配偶者) [該当者のみ]	万円
アルバイト (※1)	アルバイト1	115 万円
	アルバイト2	38 万円
	アルバイト3	万円
父母等からの給付額 (※2)		90 万円
奨学金		60 万円
その他の収入 (利子・配当・不動産・年金等の 公的手当・預貯金の取崩等)		万円
収入額合計 (※4)		303 万円

収入計算書 [本年見込 (1月～12月) 用]

本年 (1月～12月) の収入見込額		
	収入項目	収入額 (B)
定職 (※1)	定職1 (本人)	万円
	定職2 (配偶者) [該当者のみ]	万円
アルバイト (※1)	アルバイト1	76 万円
	アルバイト2	0 万円
	アルバイト3	万円
父母等からの給付額 (※2)		280 万円
奨学金 (申込中のものは除く)		0 万円
その他の収入 (利子・配当・不動産・年金等の 公的手当・預貯金の取崩等)		万円
収入見込額合計 (※4)		356 万円

「収入計算書」を作成後に申込書裏面「収入状況」欄を記入。
「収入計算書」の作成の仕方と、必要な証明書類については、「貸与奨学金案内」29～34ページを参照。

※「収入計算書」の記入例は、「貸与奨学金案内」34ページを参照

収入金額欄は、「収入計算書」（上図参照）に記入したそれぞれの金額を転記。

転記

奨学金の受給額が記載された採用決定通知等のコピーを証明書として提出

証明書の提出に代えて、「収入計算書」裏面に父母等（給付者）が給付額を記入（父母等の自署・押印が必要）

記入例

本年見込のアルバイト収入金額を申告した場合は、「本年の週当たり就労時間」欄も記入。

収入状況（本人）	勤務先名	職業	収入金額（年額・税込）		本年の週当たり就労時間		
			前年	本年（見込）	週	時間	
定職	(株) 日本学生支援商事	事務	115 万円	76 万円	20	時間	
		事務	38 万円	0 万円			
	父母からの給付額	90 万円	280 万円				
	奨学金による収入（現在申込中のものは除く）	60 万円	0 万円				
	その他の収入（預貯金の取り崩し等）【内容：】	万円	万円				
★配偶者の収入状況（定職収入のみ）			★配偶者が給与所得の場合は「源泉徴収票」、給与所得以外の場合は「確定申告書」の所得金額を記入（※配偶者が給与所得の場合は、控除前の金額を出します）。				
配偶者氏名			★ 万円	★ 万円	これから申し込む第二種奨学金（海外）は含めない（受給した実績があるもののみの計上）。		
勤務先名							
職業							
本人および配偶者の収入金額合計（配偶者給与所得は控除前の金額で計算）			303 万円	356 万円			